



A 4 菌によりわい化させたりんどう「ポラーノブルー」の特性評価

土壤細菌アグロバクテリウム・リゾジェネス A 4 菌を利用して作り出されたわい性「ポラーノブルー」は全体的にわい化する特徴があります。

この技術は(財)岩手県生物工学研究センターにおいて開発されました。切り花品種の「ポラーノブルー」から作出されたわい性「ポラーノブルー」は、多数の系統があり、わい化の程度は系統により異なります。今回は38系統の中から1次選抜で選ばれた14系統について鉢物りんどうとしての特性評価を行い、その中から6系統を有望系統として選抜しました。この6系統の特徴も様々であり、異なる草姿となります。

また、えぞ系りんどうと交配した後代からもわい性個体(表 1 Y531 × No.34)が得られており、育種素材として活用できることが示唆されました。

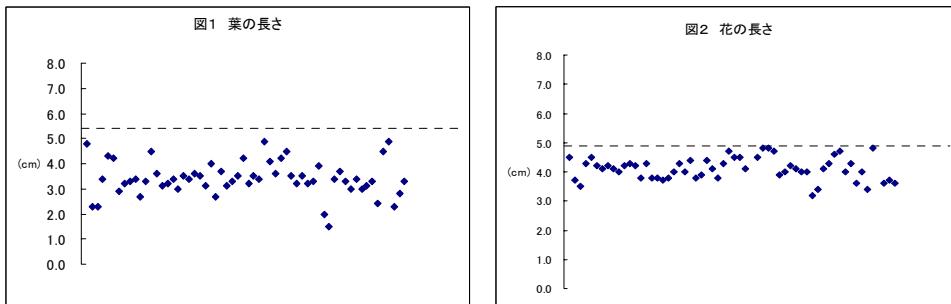


図1～2 わい性「ポラーノブルー」38系統の花及び葉の長さ(H16～17)

(◆わい性「ポラーノブルー」 切り花ポラーノブルーの大きさ)

表 1 1次選抜系統特性調査

系統No.	草丈(cm)	節数	一次側枝数	葉の大きさ(cm) 長さ 幅 長さ	花冠大きさ(cm) 径	花蕾数	開花期 (月・半旬)	評価*	特 徵
No.2B-4	15.6	8.7	8.0	2.4 1.2 3.7	1.2 3.7 1.2	16.0	8・4	×	葉型良好であるが花冠外面着色※3濃いため難
No.15-7	18.8	8.2	8.2	3.0 1.1 4.2	1.4 4.2 1.4	17.0	8・4	×	葉小さく特徴あるが花冠外面着色濃いため難
No.15-8	22.5	12.0	9.0	3.6 1.4 4.2	1.4 4.2 1.4	18.5	8・4	○	大きめの草姿でボリュームがとれる
No.18-10	17.5	11.4	16.2	4.0 1.2 2.0	2.0 1.2 0.9	12.0	8・4	△	花冠外面着色、多く葉に難あるが草姿に特徴あり
No.23A-15	19.0	10.5	11.7	3.6 1.7 3.8	1.1 3.8 1.1	17.5	8・3	×	葉小さめ、葉色薄いのが難
No.29-21	13.4	7.0	7.5	3.4 1.6 3.8	1.2 3.8 1.2	15.5	8・3	×	丈低い、葉大きめ・ヨレがあり難
No.31-24	15.6	6.0	6.6	3.5 1.7 4.0	1.4 4.0 1.4	16.6	8・3	×	丈低く難
No.34-25	17.0	10.5	18.5	2.9 1.6 3.8	1.5 3.8 1.5	26.5	8・6	○	花色若干薄いが花蕾数多く、草姿に優れる
No.54	17.5	9.0	9.2	3.5 1.4 3.8	1.2 3.8 1.2	16.9	8・4	△	花、葉小さめで小さくまとまり草姿に優れる
No.56	17.5	7.8	9.8	3.2 1.5 4.2	1.5 4.2 1.5	11.6	8・2	×	葉型良、花大きめ、花蕾数少ないので難
No.57B	13.7	10.0	19.0	1.8 1.1 3.2	0.8 3.2 0.8	21.5	8・5	△	わい化程度強、花細長いが花色良く優れる
No.58	16.7	9.6	8.0	3.6 1.5 4.2	1.2 4.2 1.2	18.8	8・5	×	葉小さめ、花大きめ、花冠外面着色が濃い
No.144	17.5	10.0	10.6	3.5 1.2 3.8	1.2 3.8 1.2	22.0	8・5	×	花蕾数多いが、花色薄く、縞目立ち難
Y531 × No.34 ^{※2}	19.5	9.2	12.0	4.2 1.8 4.0	1.2 4.0 1.2	12.4	8・2	○	花蕾数少ないが草姿、花色の点で優れる

栽培概要:挿し木3/2 鉢上げ4/10 ※1)評価:鉢物としての適性 ○良△可×不可

※2)エゾ系りんどうとわい性リンドウとの交配種 ※3)花冠外面着色:花弁色と異なる着色

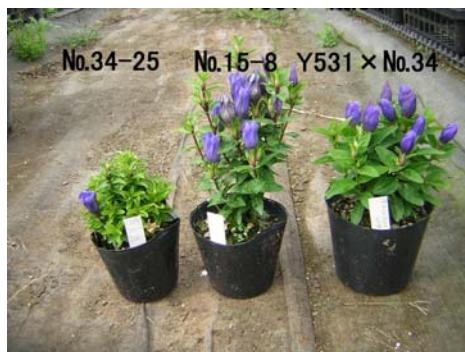


図3 有望系統の一部

担当研究室 園芸畑作部 花き研究室
〒024-0003 北上市成田 20-1
TEL. 0197-68-4419
FAX. 0197-71-1083